



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所 東
コード番号 9212 URL <https://gei.co.jp/ja/>
代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 伊原 智人
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 浦田 隆治（TEL）03-5315-0531
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	166	27.8	△225	—	△226	—	△226	—
2023年9月期第2四半期	130	△19.9	△162	—	△162	—	△163	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△20.13	—
2023年9月期第2四半期	△14.59	—

注 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	3,550	1,886	53.0
2023年9月期	2,672	2,110	78.9

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 1,881百万円 2023年9月期 2,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,064	18.6	△121	—	△123	—	△124	—	△11.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期2Q	11,277,700 株	2023年9月期	11,277,700 株
2024年9月期2Q	36 株	2023年9月期	36 株
2024年9月期2Q	11,277,664 株	2023年9月期2Q	11,230,560 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本においては2023年に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、社会・経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、長期化するロシア・ウクライナ情勢や米国の金利に関連した急激な円安の進行に加え、中東情勢緊迫化等の背景から、原材料価格やエネルギー価格の上昇により、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)より受託したバイオフィアウンドリ事業やグリーンイノベーション基金事業等、国内外のパートナー企業等との大型のパイプラインを含む研究開発を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢については、海外企業との取引において為替相場の影響は受けるものの、当社の現在の事業展開地域に当該各国は含まれておらず、現段階において、当該情勢による直接的な事業影響はございません。

以上の結果、当第2四半期累計期間は売上高166,653千円(前年同期比27.8%増)、営業損失225,402千円(前年同期比38.9%増)、経常損失226,020千円(前年同期比38.8%増)、四半期純損失226,995千円(前年同期比38.5%増)となりました。

当事業年度については、国策としての業務の受託が多く発生していることから、売上高が第4四半期会計期間に集中するため、四半期会計期間別の業績には変動があります。

なお、当社はバイオリファイナリー事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- 注1. バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオリファイナリー技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(2021年度より6年間総額54億円、このうち建屋及び設備分(25億円程度の予定)は売上高には計上されません。)であります。
2. グリーンイノベーション基金事業は、「2050年カーボンニュートラル」を実現するため、経済と環境の両面の目標達成に繋がるような、野心的な2030年目標(性能、コスト、生産性、導入量、CO2削減量等)を設定した研究開発、実証から社会実装までを継続して支援する事業であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は3,473,617千円となり、前事業年度末に比べ836,144千円増加いたしました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分により立替金が521,873千円、及び仕掛品が205,940千円等の増加があったものの、現金及び預金が51,812千円減少したことによるものであります。固定資産は76,577千円となり、前事業年度末に比べ41,952千円増加いたしました。これは主に機械及び装置が41,986千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は3,550,194千円となり、前事業年度末に比べ878,096千円増加いたしました。

② 負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,504,892千円となり、前事業年度末に比べ1,108,668千円増加いたしました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金により仮受金が805,480千円増加、また、主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資費用等にかかる未払金が242,606千円増加したことによるものであります。固定負債は159,068千円となり、前事業年度末に比べ6,316千円減少いたしました。これは主に借入金の返済により長期借入金が3,920千円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,886,233千円となり、前事業年度末に比べ224,255千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が226,995千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は53.0%(前事業年度末は78.9%)となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前事業年度末より51,812千円減少し、2,349,247千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

a 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は696千円(前年同期は174,669千円の資金獲得)となりました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金による仮受金の増加額805,480千円、未払金の増加額241,230千円、前受金の増加額82,500千円等の増加要因があったものの、同事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金の増加額521,873千円、税引前四半期純損失226,008千円、主として売上高に紐づく研究開発活動にかかる仕掛品を含む棚卸資産の増加額206,423千円等の減少要因によるものであります。

b 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は46,557千円(前年同期は4,761千円の支出)となりました。これは有形固定資産の取得による支出46,103千円の減少要因によるものであります。

c 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は4,559千円(前年同期は2,028千円の支出)となりました。これは主にリース債務の返済による支出2,339千円及び長期借入金の返済による支出2,220千円の減少要因によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による影響については、当社の業績に与える影響は軽微であり、2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等はロシア・ウクライナ情勢等今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401,060	2,349,247
売掛金	—	129,253
仕掛品	198,810	404,751
貯蔵品	1,493	1,976
前渡金	1,954	3,354
前払費用	7,427	5,932
立替金	26,726	548,599
未収消費税等	—	30,352
その他	—	149
流動資産合計	2,637,473	3,473,617
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,638	6,547
建物附属設備（純額）	709	1,213
機械及び装置（純額）	7,521	49,507
工具、器具及び備品（純額）	4,924	6,329
リース資産（純額）	14,385	11,987
有形固定資産合計	34,178	75,585
無形固定資産		
ソフトウェア	446	991
無形固定資産合計	446	991
固定資産合計	34,624	76,577
資産合計	2,672,098	3,550,194

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	44,810	46,510
リース債務	4,715	4,791
未払金	69,537	312,143
未払法人税等	11,074	10,682
未払消費税等	22,941	—
前受金	—	82,500
仮受金	234,950	1,040,430
その他	8,194	7,833
流動負債合計	396,223	1,504,892
固定負債		
長期借入金	146,680	142,760
リース債務	9,897	7,481
繰延税金負債	2,032	2,004
資産除去債務	6,775	6,822
固定負債合計	165,385	159,068
負債合計	561,609	1,663,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600,178	1,600,178
資本剰余金		
資本準備金	1,590,178	1,590,178
資本剰余金合計	1,590,178	1,590,178
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,082,208	△1,309,203
利益剰余金合計	△1,082,208	△1,309,203
自己株式	△28	△28
株主資本合計	2,108,120	1,881,125
新株予約権	2,368	5,108
純資産合計	2,110,488	1,886,233
負債純資産合計	2,672,098	3,550,194

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	130,391	166,653
売上原価	38,055	109,936
売上総利益	92,335	56,717
販売費及び一般管理費	254,617	282,120
営業損失(△)	△162,282	△225,402
営業外収益		
受取利息	14	12
助成金収入	185	—
講演料等収入	246	240
その他	—	212
営業外収益合計	447	466
営業外費用		
支払利息	719	1,083
為替差損	275	—
株式交付費	62	—
営業外費用合計	1,057	1,083
経常損失(△)	△162,892	△226,020
特別利益		
新株予約権戻入益	—	12
特別利益合計	—	12
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純損失(△)	△162,892	△226,008
法人税、住民税及び事業税	952	1,014
法人税等調整額	—	△27
法人税等合計	952	987
四半期純損失(△)	△163,845	△226,995

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△162,892	△226,008
減価償却費	2,665	6,181
株式報酬費用	—	2,751
新株予約権戻入益	—	△12
固定資産除却損	—	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,979	—
受取利息及び受取配当金	△14	△12
助成金収入	△185	—
支払利息	719	1,083
株式交付費	62	—
売上債権の増減額 (△は増加)	36,810	△129,253
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△263,016	△206,423
立替金の増減額 (△は増加)	△898,601	△521,873
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11,736	△54
未払金の増減額 (△は減少)	446,253	241,230
未払又は未収消費税等の増減額	△19,916	△53,294
仮受金の増減額 (△は減少)	1,075,599	805,480
前受金の増減額 (△は減少)	△45,912	82,500
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△3,238	255
その他	—	△158
小計	177,088	2,392
利息及び配当金の受取額	14	12
助成金の受取額	185	—
利息の支払額	△719	△1,083
法人税等の支払額	△1,899	△2,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	174,669	△696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,761	△46,103
無形固定資産の取得による支出	—	△453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,761	△46,557
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,220	△2,220
リース債務の返済による支出	△2,265	△2,339
その他の収入	2,457	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,028	△4,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	167,880	△51,812
現金及び現金同等物の期首残高	2,740,969	2,401,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,908,849	2,349,247

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はバイオリファイナリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

3. その他

該当事項はありません。